

## 施工説明書

### 【住宅用】 リチウムイオン蓄電池ユニット (5.6kWh) 品番 HQJB-BU56-A1





このたびはハンファQセルズジャパン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 施工説明書をよくお読みの上、正しく安全に施工してください。  
特に「安全上のご注意」は、施工前にお読みください。
- この施工説明書は取扱説明書とともにお客様で保管していただくようにしてください。
- 配線工事は、必ず「電気工事士」の資格のある方が「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。




### 安全上のご注意 必ずお守りください

- 設置工事を始める前に必ずこの施工説明書をお読みになり正しく安全に取り付けてください。
- 電気工事は電気工事士の資格を保有した人が行ってください。
- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
- 工事中に異常を発見した場合は、速やかに工事を中止し、販売会社または弊社にご連絡ください。
- 取り付け、配線に関して必ず付属品および指定部品を使用してください。
- 施工説明書に記載されていない設置や加工は絶対に行わないでください。

### 警告

 禁止	<b>●分解・改造しない</b> 火災・感電・漏電・故障の原因となります。	 必ず守る	<b>●本機は、直流高電圧を有するため、取付・配線工事の際、次の注意事項を必ず守る</b> 感電・故障のおそれがあります。 ・配線工事が完了するまで、ハイブリッドパワコンの太陽電池用開閉器、および住宅分電盤の連系ブレーカ、蓄電池ユニットの開閉器をすべて「OFF」にする ・作業前には必ず電圧がないことを確認する ・足場がぬれた状態や、手・身体がぬれた状態で作業は絶対にしない ・配線の被覆部を傷つけない
	<b>●湿気の多い所・湯気・水蒸気・冷気が直接あたる所・油煙の多い所・ほこりの多い所・屋外に設置しない</b> 火災・感電・漏電・故障の原因となります。		<b>●内線規程に従って接地工事を確実に進行</b> アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。
 必ず守る	<b>●強い衝撃を与えない</b> 転倒によりけがをしたり、電池などが変形して短絡し、発熱・発火・火災のおそれがあります。	 必ず守る	<b>●蓄電池の[+]ケーブルと[-]ケーブルはショートさせない</b> ショートさせると発火のおそれがあります。
	<b>●電気工事は電気設備技術基準や内線規程および労働安全衛生規則など関連法規に従って正しく安全に行う</b> 火災・感電・けがのおそれがあります。		<b>●取り付け・電気配線工事作業中には防護手袋を着用し、絶縁工具を使用する</b> 感電・けがのおそれがあります。

### 注意

 禁止	<b>●本体にホールソーや電気ドリルで穴を開けない</b> 削りカスが基板に付着して、火災・故障の原因となります。	 必ず守る	<b>●端子台への取り付けは、指定の圧着端子を用い確実に締め付ける</b> 不備があると火災や事故の原因となります。
	<b>●取り付けは、製品質量に十分耐える所に確実に進行必要に応じて壁補強を行う</b> 2人以上で作業する 不備があると転倒による故障や事故の原因となります。		<b>●配線孔は本体内部に小動物が侵入しないようにパテなどで防ぐ</b> 火災・故障の原因となります。
 必ず守る	<b>●施工上のご注意と事前確認項目は必ず守る</b> 不備があると火災や事故の原因となります。		

### 施工上のご注意

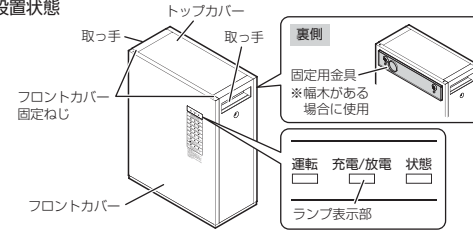
次のような場所への設置および接続は行わないでください。

- 当社指定のシステム(DC/DCコンバータ)以外への接続
- 屋外への設置
- 窓際など雨のかかる場所
- 周囲温度が動作温度範囲(0℃~40℃)外の場所(直射日光の当たる場所は避けてください。)
- 洗面所や脱衣所、台所のような著しく湿度の高い場所(85%以下のこと)
- 指定の取付スペースを確保できない場所(「設置場所」を参照)
- 過度の水蒸気・油蒸気・煙・塵埃・塩分・腐食性物質・爆発性/可燃性ガス・化学薬品・火気にさらされる場所およびさらされるおそれのある場所
- 標高が1000mを超える場所
- 温度変化の激しい場所(結露が発生する場所)
- 騒音について厳しい制約を受ける場所(騒音は約30dB以下ですが、耳障りに感じられる場合があります)ありますので、納戸など収納部(取付スペースなど条件を満たすこと)への設置を推奨します。)
- 振動または衝撃を受ける場所

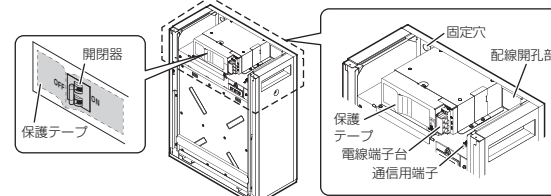
\*地震などによる振動の影響が小さい1階への設置を推奨。2階以上に設置する場合は裏面「事前確認・補強」をご参照ください。

### 各部の名前とはたらき

#### ■設置状態



#### ■施工状態



#### ●お願い

- 本体を移動させる時は取っ手を持ってください。
- 配線開孔部は持たないでください。
- 蓄電池ユニットを取り付けた後に移動させる場合は、床面に注意して2人以上で作業してください。

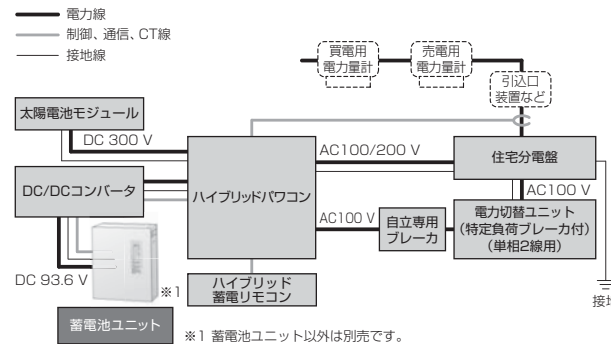
#### ■表示部でのお知らせ情報

	表示	情報
運転	■ 赤点灯	運転中
	■ 消灯	開閉器OFF状態・異常停止・点検停止
充電/放電	■ 赤点滅	点検のお知らせ
	■ 赤点灯	充電中
	■ 緑点灯	放電中
状態	■ 消灯	充電・放電 停止
	■ 1回赤点滅	使用環境温度異常 周囲に熱源がないか、直射日光が当たっていないか確認し、原因を除去して経過を観察してください。
	■ 2回赤点滅	軽微なエラー 配線状況、各機器の状況を確認し、経過を観察してください。
	■ 3回赤点滅	通信データエラー 周囲に通信を妨げるノイズ元があれば除去し、パワーステーションを再起動して、経過を観察してください。
	■ 4回赤点滅	重大なエラー 配線状況、各機器の状況を確認し、経過を観察してください。
	■ 消灯	正常・運転停止

\*エラーが復旧しない場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

### システムと構成部品

#### ■接続例 ハイブリッドパワコン・DC/DCコンバータの場合



\*1 蓄電池ユニット以外は別売です。

#### ■同梱物

同梱物を確認し、本機の外観に傷、へこみなどの異常がないことを確認してください。

#### ■付属品

部品名	個数	部品名	個数
固定用金具	1	金具固定ねじ M6×10 3点セムスねじ	2
取説説明書 ・施工説明書(本書) ・重要なお知らせ	各1	壁固定ねじ 5×25 タッピングねじ	2

#### ■現地手配部品

接続種類	線材	許容配線長さ	推奨圧着端子
蓄電池ユニット~ DC/DCコンバータ	CV2心 5.5 mm <sup>2</sup>	15 m以内	R5.5-5
	CV2心 8 mm <sup>2</sup>	20 m以内	R8-5
蓄電池ユニット~ DC/DCコンバータ	FCPEV2心 φ0.9	20 m以内	
蓄電池ユニット~ DC/DCコンバータ	IVケーブル 2.0 mm <sup>2</sup>		R2-5

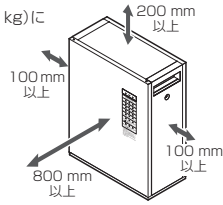
## 事前確認

ハイブリッド蓄電システムの他の機器については、それぞれの施工説明書をご覧ください。

### 設置場所

設置場所が以下の条件を満たしていることを確認してください。条件を満たしていない場所に設置すると、不具合が生じる原因になります。

- 床面は本機の質量(約68 kg)に耐えられますか。
- 水平に設置可能ですか。
- 作業スペースが確保されていますか。(右図)



### ブレーカ

接続箱の全ての開閉器、住宅分電盤内の太陽光発電システム専用ブレーカ、蓄電池ユニット内にある開閉器をOFFにしてください。

※保護テープは配線工事了りまで、はがさないでください。

### 配線開孔

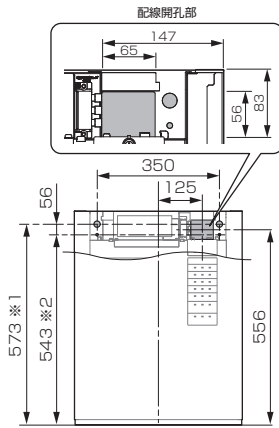
位置を確認して設置壁面を開孔し、配線の引込みをしてください。

### 補強

蓄電池ユニットの固定にあたって、ねじ固定位置(右図参照)を確認して設置背面の壁を下地補強してください。

- 1階に設置する場合は、引き抜き強度が400 N以上に耐える壁に固定してください。
- 2階以上に設置する場合は、耐震設計などに基づき、2倍以上の強度をもたせてください。

- ※1 幅木がある場合の壁固定位置
- ※2 幅木がない場合の壁固定位置

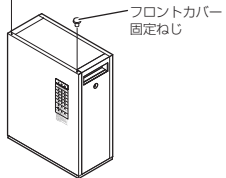


## 取付工事

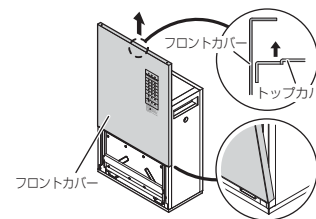
### フロントカバー・トップカバー取り外し

#### 1 フロントカバー上部の固定ねじを外す

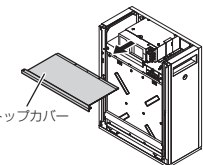
※外したねじを紛失しないように注意してください。



#### 2 フロントカバーを上方向にずらして外す



#### 3 トップカバーをスライドさせ、本体より外す



### 壁面への固定

#### お願い

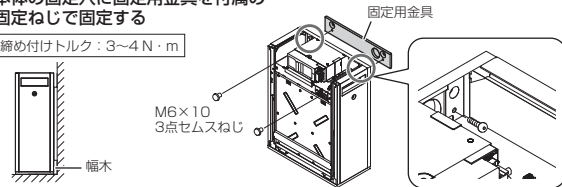
- タッピングねじの引き抜き強度200 N以上(引き抜き強度が400 N以上に耐える壁に固定してください。)
- タッピングねじを壁面に固定する際は、壁面内の配線などを傷つけないようにご注意ください。
- 壁中にラス網がある場合は、電気的に絶縁された状態になるようにしてください。

設置する壁面の種類によって、施工方法が異なります。壁面に幅木がない場合は、付属の固定用金具は不要です。

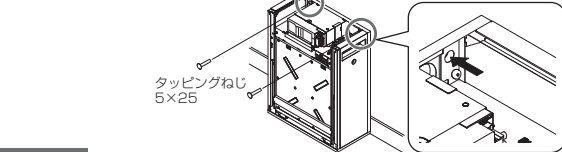
#### 幅木がある場合

#### 1 本体の固定穴に固定用金具を付属の固定ねじで固定する

締め付けトルク: 3~4 N・m

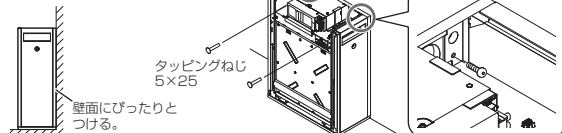


#### 2 本体の固定穴から、タッピングねじで固定用金具と壁面を2か所固定する



#### 幅木がない場合

#### タッピングねじで壁面に2か所固定する



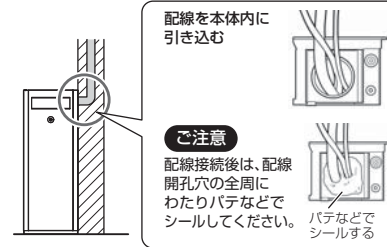
## 配線工事

### ご注意

システム接続機器の施工説明書に従って、確認の上通電をしてください。誤接続のまま通電すると、システム接続機器や蓄電池ユニットが故障します。(誤接続など、工事不良による修理対応は保証が適応されず有償修理となります。)

### 配線の引込み方法

本体背面にある配線開孔部より、システム接続機器からのケーブルを本体内に引き込みます。

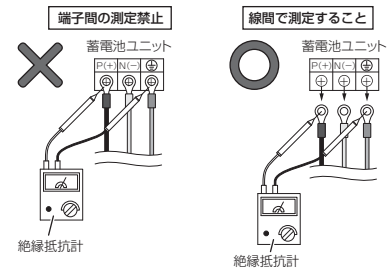


### 極間絶縁抵抗の測定方法

配線が終わった後に、配線の絶縁抵抗測定を行ってください。絶縁抵抗を測定するときは、必ず端子から電線を外して測定してください。蓄電池ユニット、太陽電池モジュールとの絶縁抵抗を測定される場合も、電線を外して測定を行ってください。

### ご注意

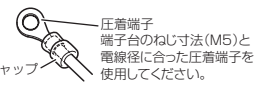
配線している状態で絶縁抵抗測定を行うと、内部回路が破壊されてしまいます。製品端子への絶縁抵抗測定はおやめください。



### 配線接続

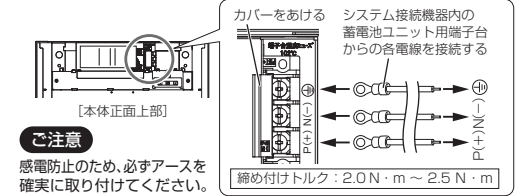
- システム接続機器の施工説明書を参照してください。
- パソコンの太陽電池用開閉器、住宅分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカ、蓄電池ユニット内にある開閉器をOFFにしてください。

#### 1 電線に圧着端子と絶縁キャップを取り付ける



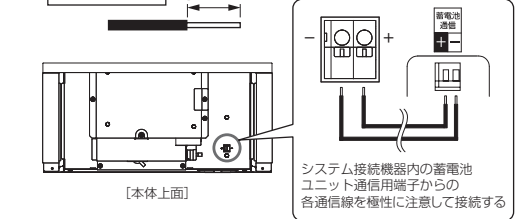
#### 2 端子台に線を接続する

入力側端子台のE(アース)・端子N(-)・P(+)端子へ接続します。



#### 3 システム接続機器からの通信ケーブルを接続する

ストリップゲージ 10~11 mm

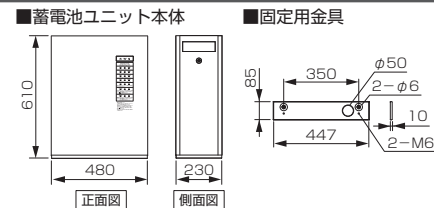


### 設置完了後の確認

- 1 配線開孔部のパテ埋めを実施してください。
- 2 蓄電池ユニットは単体で動作の確認はできません。蓄電池ユニットの充放電制御を行う接続機器の施工説明書でご確認ください。 ※開閉器をONにする際は、保護テープをはがしてください。
- 3 トップカバー、フロントカバーを、取り外しと逆の手順で取り付けてください。

締め付けトルク: 1.2 N・m

## 外形図



## 仕様

項目	仕様	項目	仕様
最大入力(充電)電流	16.5 A	充電回復時間	約5時間(25℃、満充電まで)※
最大出力(放電)電流	26.0 A	冷却方法	自然空冷
定格入出力電圧	DC 93.6 V	質量	約68 kg
定格容量	60.21 Ah	動作温度範囲	0~40℃(充電)・10~40℃(放電)
内蔵蓄電池	リチウムイオン	湿度	85%以下(結露なきこと)
蓄電容量	5.6 kWh	設置場所	屋内
外形寸法	幅480 mm×高さ610 mm×奥行230 mm		

※実際の時間は、使用条件・使用環境・経年により変化します。

## ハンファQセルズジャパン株式会社 お問い合わせ先(相談窓口)

- ・フリーダイヤル 0120-801-170
- ・受付時間 平日9:00~17:00(土、日、祝日は除く)